

市川市立妙典小学校



妙典小だより

主体性を育てる ～自主・自律・共生～



令和6年4月吉日
4月号

校長 富永 香羊子

自分で考えて、決める子

清明の候、新2～6年生のみなさま、ご進級おめでとうございます。新1年生のみなさまご入学おめでとうございます。

今年度は、学校周辺の満開の桜に見守られながら、新学期をスタートすることができました。着任式・始業式では、「語り」の入った校歌「あったかはあとがパスポート」の素敵な歌声が、新6年生の心を込めた語りと共にアリーナ（体育館）中に広がりました。入学式はあいにくの雨模様でしたが、136名の新1年生は、保護者の皆様、地域の方々、先生方に見守られながら、アリーナに元気いっぱいの笑顔をお届けしてくれました。

始業式の中で、妙典小学校の児童達に目標にして欲しいことを2つ話しました。

1. 「自分で考えて、決める子になりましょう」妙典小学校の校訓「あったかはあと」には、「いけいけはあと」、「しっからはあと」、「あったかはあと」の3つのはあとが込められています。それぞれ

- ・「いけいけはあと」は、何事にも自分から進んでチャレンジするはあと。
- ・「しっからはあと」は、自分で決めたことを守って自分の心をコントロールするはあと。
- ・「あったかはあと」は、誰に対しても思いやりを持って協力するはあと。です。

この3つのはあとを育むために、今年は、「自分で考えて、決める子」を目指す子ども像に掲げました。昨年までは、「させられないでする子ども」でしたが、今年はそれをさらにバージョンアップさせて、誰かにさせられるのではなく、自分で考えて、自分で決めることができるようになって欲しいという願いを込めています。自分で考えて、自分で決めるためには、一人でしっかり考える（個別最適な学び）ことも大切ですが、お友達や先生方、保護者の方や地域の方に相談したり、お話を伺ったりすること（協働的な学び）も大切です。誰かと話をする中で、一人では気付かなかったアイデアが浮かんでくる場合があります。また、保護者の方々には、お子様との会話を大切にし、お子様が自分で考えて自分で納得する答えが出せるまで、ゆっくり時間をかけて待つてあげていただきたいと思います。

2. 「本を読みましょう」妙典小学校には、素敵な学校図書館があります。学校図書館の本の中にはたくさんのアイデアが詰まっています。何か分からないことがあった時に本を読むと、答えのヒントが見つかるかもしれません。ぜひ、たくさんの本を読んで欲しいと思います。時には、親子で読書や読み聞かせなどをしていただけると、お子様の心のより良い成長につながると思います。

【特別支援学級「6組」の新設について】

今年度より、妙典小学校内に「6組」が新設されました。「6組」は、大きな音や大勢の人がいる場所が苦手な子供が、少人数でじっくりと学ぶ学級です。教室は、通級指導教室「いぶき学級」の隣です。

全ての子供達は、一人一人がそれぞれに素敵な個性を持っています。その一つ一つを大切に育てるとともに、子供達の思いや願いの実現に向けて、妙典小学校の教職員一同、日々、尽力して参ります。